

ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*



(x 1.0)



オス
(x 1.5)



オス ふくめん
腹面
(x 1.0)



メス ふくめん
腹面
(x 1.0)

ひょうごけんない ぶんぶいき
兵庫県内の分布域



6月下旬から現れる。小ぶりでかわいいセミ。
木の幹にとまっているとわかりにくい。模様
のついた翅は貴重な存在。鳴き声：チ——
(連続的に)。全長 32 ~ 40mm。6月 ~ 8月
に成虫。北海道、本州、四国、九州；ロシア、
中国、台湾、朝鮮半島に分布。



くろ うしろばね ひょうごけんさんだし
黒い後翅がカッコいい 兵庫県三田市



う か かとう しほりまちゅうおうこうえん
羽化 加東市播磨中央公園



ほね もよう じゆひ
翅の模様は樹皮にそっくり
さんだしありまふじこうえん
三田市有馬富士公園

なんで
ぬ がら
抜け殻は
どろ
泥まみれ？

じぶん じぶん だろ ね からだ ぬ つ
ニイニゼミは自分のおしっこで泥を練って、体に塗り付ける
しゅうせい だろ かんそう みせ い
習性があります。この泥で乾燥を防いでいると言われています。

コエゾゼミ *Auritibicen bihamatus*



オス
(× 1.3)



(× 0.8)



オス 腹面
(× 0.9)



メス 腹面
(× 0.9)

もっとひょうごう たか すず
最も標高の高い、涼しいところにすむセミ。ブ
ナやミズナラなどの広葉樹や針葉樹にもいる。
えだ うえ ある な うつ な
枝の上をよく歩き、「鳴き移り」もする。鳴き
こえ
声：ジ—— (連続的に)。ぜんちょう
全長 49 ~ 56mm。
がつ がつ せいちゅう ほっかいどう ほんしゅう ひろしまいと
7月～8月に成虫。北海道、本州（広島以东）、
しこく ちようせんほんとう ぶんぶ
四国；ロシア、朝鮮半島に分布。

ひょうごけんない ぶんぶいき
兵庫県内の分布域



エゾゼミ *Auritibicen japonicus*



(× 0.8)



オス
(× 1.0)



オス 腹面
(× 0.7)



メス 腹面
(× 0.7)

黒地に黄色の「阪神タイガース」カラーがすばらしいセミ。関西では主に標高 600m 以上の山地にすむ。マツやスギの高い枝で鳴いていることが多く、なかなかお目にかかれない。鳴き声：ギ——（低く震える声で連続的に）。全長 59 ~ 68mm。7 月中旬 ~ 9 月中旬に成虫。北海道、本州、四国、九州；中国に分布。

兵庫県内の分布域



アカエゾゼミ *Auritibicen flammatus*



(×0.8)



オス
(×1.0)



オス 腹面
(×0.7)



メス 腹面
(×0.7)

腹面の赤～オレンジ色が美しい。ブナ林でやや局地的にみられる。エゾゼミより少し高い声で鳴く。木でつぺんの小枝や葉にとまり、よく「鳴き移り」をする。鳴き声：ジ——
(連続的に)。全長 61～68mm。7月中旬～9月中旬に成虫。北海道、本州、四国、九州；朝鮮半島、中国に分布。

兵庫県内の分布域





えださき な おお
枝先で鳴くことが多い
エゾゼミ 奈良県金剛山



エゾゼミ類の目は、
羽化した時から赤い
アカエゾゼミ
かみちよう 香美町ハチ北高原

エゾゼミ類の見分け方

	しろ せん 白い線	ちい やや小さい	くろ おび 黒い帯
くろ ちよう 黒い模様 2つ ぼやける	くろ ちよう 黒い模様 4つ		
		ふくぶ きいろ せん 腹部に黄色い線 ※ないことも	
オスの 腹弁 ふくべん			
	はば ひろ 幅が広く かさ 重なる		はば 幅がせまく かさ 重ならない
●アカエゾゼミ	●エゾゼミ	●コエゾゼミ	

クマゼミ *Cryptotympana facialis*



(× 0.7)



オス
(× 1.0)



オス 腹面
(× 0.7)



メス 腹面
(× 0.7)

ひょうごけんない ぶんぶいき
兵庫県内の分布域



かんさい いちばん おお まちなか おお やま
 関西では一番大きいセミ。街中ほど多く、山
 なか すく なつ ごぜんちゆう まちなか
 の中では少ない。夏の午前中、街中でこれほ
 どやかましく鳴くセミは他にいない。鳴き声：
 な ほか な ごえ
 シャンシャンシャン。ぜんちゆう 全長 60～70mm。7
 がつちゆうじゆん がつじょうじゆん せいちゆう ほんしゆう かんとういせい
 月中旬～9月上旬に成虫。本州（関東以西）、
 しこく きゅうしゆう なんせいしよとう ぶんぶ
 四国、九州、南西諸島に分布。



かえださんらん こうべしひがしなだく
枯れ枝に産卵するメス 神戸市東灘区



しゅうだん つく おおきおかしながいこうえん
集団を作ることも多い 大阪市長居公園



うか あかししあかしこうえん
羽化 明石市明石公園

アブラゼミ *Graptopsaltria nigrofuscata*



(× 0.8)



オス
(× 1.0)



オス 腹面
(× 0.7)



メス 腹面
(× 0.7)

シックな茶色の翅をしており、透明な翅が多いセミの仲間では珍しい存在。関西のセミの中で、最も幅広い環境で見られる身近なセミ。午後によく鳴く。鳴き声：ジー、ジリジリ…。全長 53～60mm。7月中旬～10月に成虫。北海道、本州、四国、九州、南西諸島（屋久島以北）；朝鮮半島、中国に分布。

兵庫県内の分布域





たまに^{せなか}背中の^{あか}赤い、^{がた}セアカ型がみつかるところ^{さんだしるかだこうえん}三田市深田公園



^{こうふん}口物を^つ突き^き刺して^き木の^{しる}汁を^す吸う ^{おおさか}大阪府^{おおさか}大阪^{さか}狭山市



^{えだ}枝にと^{まる}まる^おオス ^{おおさか}大阪府^{おおさか}大阪^{さか}狭山市



^う羽^か化したばかりの^{はね}翅はまだ^{しろ}白い
^{えひめけん}愛媛県^{まつやまし}松山市

ハルゼミ *Yezoterpnosia vacua*



(x 1.0)



オス
(x 1.5)



メス
(x 1.5)

マツ林で見られる。最も早くに現れ、ゴールデンウィーク頃から鳴き始める。黒くて小さいし、枝の上にいるので見つけにくい。松枯れによる生息地への影響が危惧され、各地で減っている。鳴き声：ギーギーギー（波打つような声で）。全長 32 ~ 37mm。4月下旬 ~ 6月下旬に成虫。本州（関東以西）、四国、九州；中国に分布。

ひょうごけんない ぶんぶいき
兵庫県内の分布域



エゾハルゼミ *Yezoterpnosia nigricosta*



(x 1.0)



オス
(x 1.5)



メス
(x 1.5)

初夏のセミで、関西では主に標高 800m 以上のブナ林にすむ。鳴き声：ミョーキ、ミョーキ、ミョークケケ…。全長 37～44mm。5月中旬～7月下旬に成虫。北海道、本州、四国、九州；ロシア、中国に分布。

兵庫県内の分布域



ヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis*



(× 1.0)



オス
(× 1.5)



メス
(× 1.5)

ふる 古いシイ・カシ林が残る、神社や寺の鎮守の森
 きよくちてき で局地的に見られる。淡路島では比較的多い。
 ゆうがた 夕方から暗くなるまで鳴くことが多い。1匹
 な が鳴くと、つられるように突如大合唱となり、
 すうぶんご 数分後には元の静寂に戻る。鳴き声:ギリリオ、
 ぜんちよう ギリリオ…。全長 33～38mm。6月末～7
 がつげいん 月下旬に成虫。本州(関東以西)、四国、九州、
 なんせいしやとう 南西諸島(徳之島以北)に分布。

ひようこけんない 兵庫県内の分布域



ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*



(x 1.0)



オス
(x 1.5)



メス
(x 1.5)

夏休みの終わりを告げるセミ。他のセミが減る
 8月下旬に自立つが、案外7月下旬くらいから
 鳴き始めている。逃げ足が速く、捕まえにくい。
 鳴き声：オーシ、ツクツク… (近くにいる仲間
 と、シューーンと合の手を入れることもある)。
 全長40～45mm。7月中旬～10月上旬に
 成虫。北海道、本州、四国、九州、南西諸島(ト
 カラ列島以北)；朝鮮半島、中国、台湾に分布。

兵庫県内の分布域



ヒグラシ *Tanna japonensis*



(× 1.0)



オス
(× 1.3)



メス
(× 1.3)

ひょうごけんない ぶんぶいき
兵庫県内の分布域



はやし なか うすくら ぼしよ おお そうちよう ゆうぐ
林の中でも薄暗い場所に多い。早朝と夕暮れに
うつく かなだか こえ がっしょう やま おお
美しく甲高い声で合唱する。山に多いが、ごく
まれ まちなか な こえ き な こえ
稀に街中で鳴き声を聞くこともある。鳴き声：
ケケケケケ… ぜんちよう がつまつ
全長 42 ~ 50mm。6月末～
がつじょうじゆん せいちゆう ほっかいどう ほんしゅう しこく きゅうしゅう
9月上旬に成虫。北海道、本州、四国、九州、
なんせいしやう たからじま あまみおおしま うけじま ぶんぶ
南西諸島（宝島、奄美大島、請島）に分布。



きゆうそく さんだしありまみじこうえん
休息するオス 三田市有馬富士公園



ようちゆう きせい
セミヤドリガの幼虫に寄生されることもある
さんだし
三田市かんぶくの森



みくぶないぶ
腹部内部をヒグラシヤチニクバエ（ヒグラシ
ヤドリバエ）の幼虫に寄生されることもある
ひょうごけんさようちゆう
兵庫県佐用町

ミンミンゼミ *Hyalessa maculaticollis*



(×0.8)



オス
(×1.0)



オス 腹面
(×0.7)



メス 腹面
(×0.7)

みどりいろ うつく とうきょう しが いち
 緑色が美しい。東京では市街地にもいるが、
 かんさい さんち おお かんさい とかい す
 関西では山地に多い。関西の都会に住む子ど
 もにとっては憧れのセミ。8月後半に多い。鳴
 き声：ミーン、ミンミンミン、ミー…。全長
 55～65mm。がつちゆうじゆん がつげじゆん せいちゆう
 8月中旬～10月下旬に成虫。
 ほっかいどう ほんしゆう しこく きゆうしゆう なんせいしよとう
 北海道、本州、四国、九州、南西諸島（トカラ
 れつとういぼく ちようせんはんとう ちゆうごく ぶん ぶ
 列島以北）；ロシア、朝鮮半島、中国に分布。

ひょうごけんない ぶんぶいき
 兵庫県内の分布域





メス

からだ くるもよう ごとたいき
体の黒い模様は個体差があり、
とく まった
特に全くないものはミカド型
(ミカドミンミン) と呼ばれる



きゅうそく ひょうごけんたからづかし
休息するオス 兵庫県宝塚市



う か ひょうごけんかみちょう
羽化 兵庫県香美町

チツゼミ *Kosemia radiator*



(× 1.0)



オス
(× 2.0)



はねと 翅を閉じたとき、後翅の一部が突き
で 出るのが特徴
うしろばね いちぶ つ
さんだしありまふじこうえん
三田市有馬富士公園



オス 腹面
(× 1.0)



メス 腹面
(× 1.0)

とても小さい、秋のセミ。マツ林で見られるが、黒く小さいため見つけにくい。鳴いていても、それがセミの声だと気づかない人がほとんど。鳴き声：ジツ、ジツ、ジツ（連続的に）。
全長 25 ~ 33mm。7月中旬 ~ 11月上旬に成虫。北海道、本州、四国、九州に分布。

ひょうごけんない ぶんぶいき
兵庫県内の分布域



●かんさいのせみ けんべつぶんぶひょう 県別分布表

	ひょうこ 兵庫	おおさか 大阪	きょうと 京都	しが 滋賀	なら 奈良	わかやま 和歌山
ニイニゼミ	○	○	○	○	○	○
コエゾゼミ	○	いない	○	○	○	○
エゾゼミ	○	○	○	○	○	○
アカエゾゼミ	○	○	○	○	○	○
クマゼミ	○	○	○	○	○	○
アブラゼミ	○	○	○	○	○	○
ハルゼミ	○	○	○	○	○	○
エゾハルゼミ	○	○	○	○	○	○
ヒメハルゼミ	○	○	○	○	○	○
ヒグラシ	○	○	○	○	○	○
ツクツクボウシ	○	○	○	○	○	○
ミンミンゼミ	○	○	○	○	○	○
チッチゼミ	○	○	○	○	○	○

各県のレッドリストのカテゴリーに応じて着色しています ※ 2020年時点

絶滅危惧種に相当

準絶滅危惧種に相当

その他 地域カテゴリー



せみは環境のパロメーター。種類によって、少しずつすんでいる場所が違います。そのため、少し変わった環境にすんでいるセミの中には、環境の変化で数が減ってきているセミもあります。いつまでも、このセミたちに出会えるよう自然を大切にしたいですね。